

2018年2月15日
株式会社東陽テクニカ

「Security Days Spring 2018」に協賛・出展 ～サイバーリスクを最大限に低減する最新手法を提案～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、株式会社ナノオプトメディアが主催する「Security Days Spring 2018」に協賛・出展いたします（会期：大阪 2018年3月2日（金）、東京 3月7日（水）～9日（金））。

脆弱性スキャナや脆弱性管理ツールを提供する Tenable, Inc.（本社：米国メリーランド州コロンビア、以下 Tenable 社）と、次世代のセキュリティ&パフォーマンステストプラットフォームやセキュリティ診断サービスを提供する Spirent Communications, Inc.（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 Spirent 社）と共同で、セッションを中心に両社のセキュリティソリューションを紹介いたします。

標的型攻撃や新たなサイバー攻撃はますます巧妙化・複合化しており、IT を利用する企業・組織にとって、深刻なセキュリティインシデント発生リスクを回避することはできません。東陽テクニカは、サイバー空間のリスク管理や、セキュリティを評価する際に直面する様々な問題への考え方や解決手法など、リスクを最大限に低減するための最新の手法を提案いたします。



<Tenable 社 クラウドベース脆弱性管理ツール
「tenable.io」構成図>



<Spirent 社 次世代セキュリティ&パフォーマンステストソリューション
「Spirent CyberFlood」画面>

【セッション概要】

<大阪会場>

■ Tenable セッション

- 日時：2018年3月2日（金）10:40～11:20（セッション番号 OB-02、部屋番号 RoomB）
- タイトル：「**サイバーエクスポージャー：サイバーリスクを把握し削減するための新たな原則**」
- 講師：Tenable Network Security Japan 株式会社 セールスエンジニア 梅原 鉄己氏
- 概要：金融業界において、エクスポージャーと呼ばれる保有資産に潜む外的リスクの厳格な評価原則があります。サイバー空間でも保有資産のリスク管理を厳格に行うべきです。仮想化、クラウド、IoT（モノのインターネット）/OT（運用技術）へと拡大し続けるアタックサーフェース（攻撃の対象となり得る領域）に潜むサイバーリスクをどのように適切に管理するのか、Wannacry^{※1} や Meltdown^{※2} などの突如出現する脅威にどう備えるべきかを紹介します。

<東京会場>

■ Spirent セッション

- 日時：2018年3月7日（水）14:15～14:55（セッション番号 C1-07、部屋番号 RoomC）
- タイトル：「**ネットワークセキュリティ&パフォーマンステスト手法 “セキュリティ”の測り方、教えます**」
- 講師：東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部 SE グループ エバンジェリスト 花澤 秀幸
- 概要：セキュリティを評価する際に直面する様々な問題への考え方、解決手法について、海外/国内のセキュリティテスト事例を交えて、ネットワーク・パフォーマンスの負荷試験分野のパイオニアである Spirent/東陽テクニカのノウハウを紹介します。

■ Tenable セッション

- 日時：2018年3月8日（木）14:15～14:55（セッション番号 B2-07、部屋番号 RoomB）
- タイトル：「**サイバーエクスポージャー：サイバーリスクを把握し削減するための新たな原則**」
- 講師：Tenable Network Security Japan 株式会社 セールスエンジニア 梅原 鉄己氏
- 概要：金融業界において、エクスポージャーと呼ばれる保有資産に潜む外的リスクの厳格な評価原則があります。サイバー空間でも保有資産のリスク管理を厳格に行うべきです。仮想化、クラウド、IoT（モノのインターネット）/OT（運用技術）へと拡大し続けるアタックサーフェース（攻撃の対象となり得る領域）に潜むサイバーリスクをどのように適切に管理するのか、Wannacry や Meltdown などの突如出現する脅威にどう備えるべきかを紹介します。

※セッションへのお申込み：下記主催者公式サイトからご登録ください（事前登録制）。

<大阪会場> ■ Tenable セッション <https://reg.f2ff.jp/public/session/view/6027>

<東京会場> ■ Spirent セッション <https://reg.f2ff.jp/public/session/view/5912>

■ Tenable セッション <https://reg.f2ff.jp/public/session/view/5942>

※1 Microsoft Windows を標的としたワーム型ランサムウェア

※2 幅広いマイクロプロセッサに存在するハードウェアレベルの脆弱性

【ブース概要：東京会場のみ】

- 期間：2018年3月7日（水）～9日（金）
- ブース番号：Spirent社/東陽テクニカ：10、11
Tenable社/東陽テクニカ：12、13

＜主な展示製品＞

◆Tenable社製品

- ・「tenable.io」：脆弱性管理、コンテナセキュリティ評価、Web Application Scanning を行うクラウドベース脆弱性管理ツール

◆Spirent社製品

- ・「Spirent CyberFlood」：DDoS、エクスプロイト、マルウェアの攻撃エミュレーションからネットワーク/アプリケーションのパフォーマンステストまで、1台のプラットフォームで実現するオールインワン次世代セキュリティ&パフォーマンステストソリューション
- ・「Spirent SecurityLabs」：米国のホワイトハッカーが多角的に疑似ハッキングするペネトレーションテスト

【会場】

- 大阪会場：ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC
（住所）大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館タワーC8F
- 東京会場：JPタワーホール&カンファレンス（KITTE 4F）
（住所）東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー KITTE 4F

※東陽テクニカ出展のお知らせ「Security Days 2018」

<https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/SecurityDays2018.html>

＜Tenable, Inc.について＞

Tenable社は「Nessus」の開発だけでなく、IT（情報技術）、IoT（モノのインターネット）、OT（運用技術）に及ぶ現在のサイバーセキュリティ技術を牽引し続ける革新的企業です。世界で最も優れた脆弱性管理技術を活かし、サイバーエクスポージャーの領域を牽引することで、あらゆる組織がサイバーリスクを適切に把握、削減できるプラットフォームを提供します。

Tenable社 Webサイト：<https://www.tenable.com/>

<Spirent Communications, Inc.について>

Spirent 社は、IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器製造会社、一般企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、リーディングカンパニーとして長年通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって 400G イーサネット、LTE/無線 LAN/衛星通信、NFV/クラウド、IoT/M2M、セキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の国内における総代理店です。

Spirent 社 Web サイト：<https://corporate.spirent.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

当社は 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250（直通） E-mail：ict_contact@toyo.co.jp

東陽テクニカ「情報通信 TOP」ページ：<http://www.toyo.co.jp/ict/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。